

2012年1月1日
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

国連責任投資原則(PRI)への署名について

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社(東京都中央区:代表取締役社長 数間 浩喜)は、2012年1月1日、国連責任投資原則(UN-backed Principles for Responsible Investment)の趣旨に賛同し、署名会社となりました。

◆ 国連責任投資原則とは

2006年4月に当時のコフィー・アナン国連事務総長により提唱された以下の6つの原則です。環境(E:Environmental)、社会(S:Social)、企業統治(G:Corporate Governance)にわたる諸々の課題を適切に配慮する枠組みの提供を目的としたもので、機関投資家がこれらの原則を適用することで、より広範な社会の目的を達成できるであろうとされています。

【PRIの6原則】

1. 私たちは投資分析と意思決定のプロセスにESGの課題を組み込みます。
2. 私たちは活動的な(株式)所有者になり、(株式の)所有方針と(株式の)所有慣習にESG問題を組み入れます。
3. 私たちは、投資対象の主体に対してESGの課題について適切な開示を求めます。
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

◆ 責任投資に対する当社の考え方・取り組みについて

当社は、1999年にエコファンドを設定するなど、責任投資に関して前向きに取り組んでまいりました。今回PRIに署名することは、責任投資に対する当社のコミットメントを明確にするもので、今後とも受託者責任に反しない範囲で、機関投資家としての社会的責任を果たしていく所存であります。

以上